

令和2年度 白金の丘学園が目指す学校教育

1 はじめに

本校は、施設一体型の小中一貫教育校として開校6年目を迎え、今年度は小学校学習指導要領全面実施の年度にあたることから、改めて、学習指導要領の理念、港区の幼・小中一貫教育の方針に基づき、本校が目指す「世界で活躍する力を育て、社会的に自立する人間づくり」のもと、白金地区ならではの幼・小中一貫教育を展開します。

2 学校の教育目標

子供たちが、将来、社会や環境がいかに変化しても、だれとでも助け合い協力しながらたくましく生きていくための教養と心身の健康を身に付けさせるために、次の目標を定めます。

- 相手を思いやり 礼節ある人
- 自ら学び 自ら考え 自ら行動する人
- よく運動し 強い心と健康なからだをつくる人



3 目指す児童・生徒像及び教育方針

「世界で活躍する力を育て、社会的に自立する人間づくり」のもと「探究力、表現力、行動力、コミュニケーション力、リーダーシップ力」の5つの力を育て、「柔軟な知性と豊かな感性、たくましい心と体をもった児童・生徒」を育成します。そのために、本校は「9年間の『笑顔と真剣』な姿がある学校」をキャッチフレーズに「児童・生徒に確かな学力の定着と向上を図ることにより意欲を育て自信をもたせる」ことを教育方針の柱とします。

(1) 社会生活に必要な姿勢と実践力の育成

学校生活（集団生活）全般で、社会に必要な基本的な姿勢や実践力を身に付けさせることが重要です。「感謝の気持ち」や「奉仕の心」を育む教育活動を展開するとともに「あいさつをする」「時間を守る」など集団生活の基本的なマナーについて、学校教育の中で教えていきます。



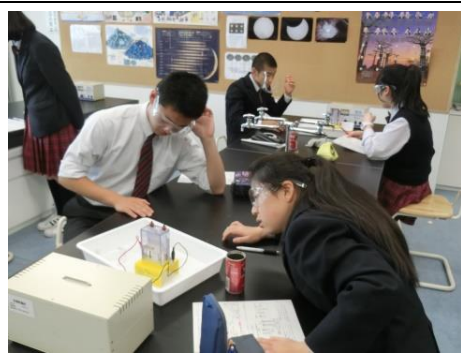
(2) 発達段階に応じた学力の定着を図ることを目的とした4-3-2の学びの区分による指導

学びの区分による指導の中で、習得→活用→探究の学習を繰り返し行い、問題解決能力など将来、社会生活で活かせる力を身に付けます。

I期（1～4年）：生活・学習の基礎・基本の確立

II期（5～7年）：生活・学習の基礎・基本の活用

III期（8～9年）：個性の伸長、知の発展



(3) 思考力を高めることを目的とした学習指導要領・白金の丘カリキュラムに基づく、考え伝え合う授業の実践

すべての授業において、考えさせる場面・子供同士が学び合う時間を設定し、考え伝え合う力を育成します。



(4) 思いやりやあこがれなどの心の教育を重視するとともに人間関係を構築する力、小中一貫教育校としての一体感を育むことを目的とした異学年交流行事の充実

すべての学年が、異学年交流を通してリーダーシップを発揮する場を設け、達成感を感じる教育を実施します。



(5) 生き方や社会生活の基盤となるスキルを身に付けさせることを目的とした地域人材、大学、企業などの地域資源を活用した教育の推進

地域と連携した取組みを充実し、本校ならではの特色ある教育を展開します。

- ・ 地域の商店等と連携した職場体験（中学校）
お店体験（小学校）
- ・ 大学と連携した教育活動（出前授業等）
- ・ 自然教育園と連携した理科教育
- ・ 地域の工場と連携した社会科教育

